国際アート＆デザイン大学校　日本語科
令和6年度(2024年度)　自己点検・評価

評価期間　：令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日
評　　価　：A(適切)　B(ほぼ適切)　C(やや不適切)　D(不適切)

1．学校運営理念・教育目的		評価
評価項目	1.1　学校の理念や教育目的は定められているか。	A
	1.2　学校の理念や教育目的は日本語教育機関として妥当であるか。	A
	1.3　教職員・学生に対して、学校の理念や教育目的が周知されているか。	A
	1.4　学校の理念や教育目的に基づく教育が行われているか。	A

2．学校全体運営		評価
評価項目	2.1　日本語教育機関の告示基準に適合しているか。	A
	2.2　学校の理念や教育目的に沿った運営方針が定められているか。	A
	2.3　学校の理念や教育目的に沿った事業計画が定められているか。	A
	2.4　学校運営組織や意思決定機能は明確化され、有効に機能しているか。	A
	2.5　学生等に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか。	A
	2.6　業務の見直しや効率的運営の検討が定期的・組織的に行われているか。	A

3．教職員		評価
評価項目	3.1　教職員の職務内容・責任・権限を明確に定めているか。	A
	3.2　教職員の出入国・在留管理に関する知識・理解は十分あるか。	A
	3.3　教職員の知識・能力向上の為、研修等の取り組みを実施しているか。	A
	3.4　教職員の評価を適切に行っているか。	A
	3.5　教職員の評価に基づく面談や改善指導を行っているか。	A
	3.6　教職員の健康診断は定期的に行われているか。	A

4．入学者募集と受入れ		評価
評価項目	4.1　学校の理念や教育目的に沿った学生の受入れ方針を定めているか。	A
	4.2　入学希望者に対して適切な情報提供や入学相談を行っているか。	A
	4.3　入学希望者の日本語能力や、その経費支弁者の経費支弁能力を適切な方法により直接確認しているか。	A
	4.4　仲介者等に適切な情報提供を行うと共に、その募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	B
	4.5　入学者の選考に当たり、仲介者等に支払う費用の金額が授業料等との比較で適切であるか。	A

	4.6　入学者の選考に当たり、入学希望者が仲介者等に支払う金銭の名目及び額を適切な方法で把握しているか。	C
	4.7　入学選考は適正且つ公平な基準に基づいて行われているか。	A
	4.8　学生情報の正確な把握に努め、提出された根拠資料等により確認を行っているか。	A
	4.9　入学者募集に係る書類等は適切に管理されているか。	A
	4.10　関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか。	A

5．教育環境		評価
評価項目	5.1　教室内は、教育に適した照度・換気・遮音性等が確保されており、視聴覚教材やＩＴを利用した授業の為の設備・機器を有しているか。	A
	5.2　教育内容や学生数に応じた教材・図書を所蔵し、利用可能であるか。	A
	5.3　教職員の業務遂行に必要なスペースや設備・機器を確保しているか。	A
	5.4　同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設備しているか。	A
	5.5　法令上必要な設備等を備えているか。	A

6．教育内容・教育活動		評価
評価項目	6.1　学校の理念や教育目的に合致したコース設定をしているか。	A
	6.2　教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成しているか。	A
	6.3　授業のシラバスを作成しているか。	A
	6.4　教育目標に合致した教材を選定しているか。	A
	6.5　補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにすると共に、著作権法に留意しているか。	A
	6.6　教員の能力・経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか。	A
	6.7　教員に対して担当クラスの学生の指導に必要な情報を伝達しているか。	A
	6.8　授業記録及び出席簿を備え、正確に記録しているか。	A
	6.9　教育内容・教育活動の振り返りと改善が行われているか。	A
	6.10　特定の支援を必要とする学生に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。	A

7．成績判定と授業評価		評価
	7.1　成績評価及び進級・卒業判定方法が明確に定められ、その判定基準と方法を開示し、評価が適切に行われているか。	A
	7.2　成績判定結果を的確に学生に伝えているか。	A
	7.3　学生による授業評価を定期的に実施し、その内容を教育内容や方法の改善に反映しているか。	C

8．教育成果	評価

	8.1　入学から卒業までの学習成績を記録・保管し、適正に管理しているか。	A
	8.2　学生が受験した日本語能力試験等の結果を把握しているか。	A
	8.3　学生の卒業後の進路を把握しているか。	A
	8.4　卒業生の進学先・就職先での状況や評価を把握しているか。	B

9．学生支援・危機管理・安全管理		評価
評価項目	9.1　生活指導担当者を配置しているか。	A
	9.2　日本社会を理解し、適応する為の取組みを行っているか。	A
	9.3　生活オリエンテーションを入学直後及び定期的に行っているか。	A
	9.4　住居・アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。	A
	9.5　学生の健康診断を定期的に実施すると共に、健康・衛生面での指導を行っているか。	A
	9.6　対象となる学生全員が国民健康保険に加入すると共に、学生総合保障にも加入しているか。	A
	9.7　事件・事故や疾病・傷害・感染症発生時の対応措置を定めているか。	A
	9.8　火災・地震・台風等の災害発生時の対応措置を定めており、学内での避難訓練を定期的に実施しているか。	A
	9.9　学生と定期的に面談を行うと共に、その家族や経費支弁者と適切に連携しているか。	A

１０．進路に関する支援		評価
評価項目	10.1　進路指導担当者を配置しているか。	A
	10.2　教職員の進路指導に関する知識の習得・向上に努めているか。	A
	10.3　学生の希望進路を把握しているか。	A
	10.4　進路関連資料が学内に備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。	B
	10.5　入学時からの一貫した進路指導を行っているか。	A

１１．在留管理・法令遵守		評価
評価項目	11.1　出入国在留管理局により認められた申請等取次者の資格を有する入管事務担当者を配置しているか。	A
	11.2　研修等により、入管事務に関する情報取得を継続的に行っているか。	A
	11.3　入管法上の留意点について学生への伝達・指導を行っているか。	A
	11.4　在留に関する学生の情報を正確に把握するよう努めているか。	A
	11.5　在留上問題のある学生への個別指導を行っているか。	A
	11.6　不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させない為の取組みを継続的に行っているか。	A
	11.7　法令遵守に関する担当者を配置しているか。	A
	11.8　教職員のコンプライアンス意識を高める為の取組みを行っているか。	A
	11.9　個人情報保護の為の対策を取っているか。	A

	11.10　出入国在留管理局等への届出・報告を遅滞なく行っているか。	A

１２．財務		評価
評価項目	12.1　中長期的に財務状況は安定しているか。	A
	12.2　予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか。	A
	12.3　適正な会計監査が行われているか。	A
	12.4　財務情報公開の体制整備はできているか。	A
	12.5　物品等(消耗品・貯蔵品等)の在庫管理をしているか。	A
	12.6　施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A
	12.7　物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	B

１３．地域貢献・社会貢献		評価
評価項目	13.1　日本語教育機関の資源・施設・人材を活用した地域貢献・社会貢献を行っているか。	A
	13.2　学生のボランティア活動への支援を行っているか。	A